

文化シヤッター CUP

ゴールドドッチ大会 2015

<大会報告書>



【開催要項】

日 時	平成 27 年 12 月 23 日 水曜祝日 11:00~17:00
会 場	adidas FUTSAL PARK 川崎 (屋根付き全天候型 人工芝フットサルコート) 神奈川県川崎市川崎区小川町 1-26 ラ チッタデッラ内 アリーナ チッタ TEL: 044-230-1375
主 催	日本ドッチビー協会
特別協賛	文化シャッター株式会社
協 賛	日本テトラパック株式会社 東京キリンビバレッジサービス株式会社 株式会社ミカサ
部門/資格	年齢性別区別なし (小学生高学年以上を推奨)
表 彰	各部門、優勝/準優勝/3位
参加賞	すべての参加者(選手申込者)に対して以下を各 1 贈呈。 ・文化シャッター(株)ご提供 = スポーツタオル ・日本テトラパック(株)ご提供 = エコ・ドッチビー270 ・東京キリンビバレッジサービス = 555ml ペットリンク

【お問合せ先】

日本ドッチビー協会 DBJA

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-46-302

TEL : 03-3264-3626

FAX : 03-3264-3627

Mail : support@dbja.jp

【参加チーム一覧】

		大人	小人	計
1	新城 style 大学生（高校クラブOB）	7	0	7
2	D4（ディーフォー） 成人	7	0	7
3	クラブマンキージュニア 成人（企業）	11	0	11
4	FREAKS OBOG 成人（FDチームOBOG）	11	0	11
5	TEAM大成有楽 成人（企業）	9	0	9
6	汐留バイーンズ 成人（企業）	10	0	10
7	ねぎちる 成人（企業）	9	0	9
8	D1K（第一教材社） 混成（企業・ファミリー）	10	3	13
9	M. D. C 混成（武蔵野市／クラブ）	7	2	9
10	合同チーム混成 フェルテ エルマース（FDチームOB）	5	1	6
	ビッグボンバース（FDチーム）	5	0	5
11	TTV 混成（北区／クラブ）	10	0	10
12	NDCヤソップ 混成（足立区／クラブ）	10	1	11
13	ビクティニーズ 小学6年（荒川区／クラブ）	0	7	7
14	Guts 柏木 小学5年（新宿区／クラブ）	1	11	12
15	ビクティニーズMAX 小学5年（荒川区／クラブ）	1	6	7
16	ウエストシックス 小学6年（荒川区／クラブ）	0	11	11

●チーム総合計 : 16チーム

●参加選手総数 : 156名

内訳/子ども 42名（中学生以下）
/おとな 114名（中学卒業以上）

●大会関係者総数 : 40名

内訳/チーム監督コーチ 20名
/主要スタッフ 10名
/来賓その他 10名

◆大会関与者総合計 196名

◆観戦・引率保護者数約100名

大会関係者総合計 約300名

【競技方法】

試合時間 : 1 試合 前・後半各 7 分、ハーフタイム 2 分

対戦形式 : 1 6 チームで構成したトーナメント戦。

ルール : 日本ドッチビー協会公式ルールで実施します。
一部大会独自ルールを採用します。
1) 試合の人数は全試合 4 名でおこないます。
2) 全試合、規定時間終了時、同点の場合
P T 戦で決着します。

【進行スケジュール】

10 : 30 ~ 10 : 55	集合・受付		
11 : 00 ~ 11 : 20	開会式(大会ルール説明)		
	Aコート	Bコート	
11 : 20 ~ 11 : 40	①試合	②試合	
11 : 40 ~ 12 : 00	③試合	④試合	
12 : 00 ~ 12 : 20	⑤試合	⑥試合	
12 : 20 ~ 12 : 40	⑦試合	⑧試合	
12 : 40 ~ 13 : 00	⑨試合	⑩試合	
13 : 00 ~ 13 : 20	⑪試合	⑫試合	
13 : 20 ~ 13 : 40	⑬試合	⑭試合	
13 : 40 ~ 14 : 00	⑮試合	⑯試合	
14 : 00 ~ 14 : 20	⑰試合	⑱試合	
14 : 20 ~ 14 : 40	⑲試合	⑳試合	
14 : 40 ~ 15 : 00	㉑試合	㉒試合	
15 : 00 ~ 15 : 20	㉓試合	㉔試合	
15 : 20 ~ 15 : 40	㉕ 15 位決定戦	㉖ 13 位決定戦	
15 : 40 ~ 16 : 00	㉗ 11 位決定戦	㉘ 9 位決定戦	
16 : 00 ~ 16 : 20	㉙ 7 位決定戦	㉚ 5 位決定戦	
16 : 20 ~ 16 : 40	㉛ 3 位決定戦	㉜ 優勝決定戦	
16 : 40 ~ 17 : 00	表彰式 / 閉会式 終了・解散		

【講 評】

12月23日(水祝)15時以降から雨、また、今冬の中では気温も低くなるとの生憎の予報の中、受付開始 10:30 には各チーム、アディダスフットサルパーク川崎に集合。



会場はイタリアの街並みを再現したオシャレな商業施設、ラ チッタデラ内にあり、屋根付2面のフットサルコートはどちらも2Fクラブハウスのテラスから眺められる配置。

1Fにはガラス張りのレストランがあり、一般の方々への訴求効果が高く、JR川崎駅から徒歩5分というアクセスも最高といえる会場での開催。



「adidasFUTSALPARK」の運営は東急スポーツシステム(株)がおこなっており首都圏6か所(今会場の川崎/金沢文庫/あざみ野/たまプラーザ/渋谷/池袋)で展開中だがここ川崎は屋根付きで天候中止なく使用できるため、抜群の人気を誇る施設。



ここを2面同時に6時間貸切るのは通常ではほぼ不可能なところ、DBJAは2013年よりコラボイベントを開催する関係などから特別の計らいをいただき今回の開催となりました。



本大会は〆切1か月前の時点で多数チームからの要望があり、結果として17チーム(2チームには合同チーム結成を依頼しました)により、募集16枠いっぱいでの実施となりました。チームの内訳として大きく括ると小学生中心/会社仲間中心/社会人や学生の仲間中心/ドッチビー・FDクラブ中心の4カテゴリーとなり、過去に例を見ることがない多岐にわたる皆様が集まったことはドッチビーならではであり、嬉しく思います。



試合内容は小学生チームの上位進出はさすがにかなわず！ではありましたがドッチビー扱いに慣れた子どもたちが大人を圧倒し、唸らせるプレーを連発する姿は最高におもしろく、また盛り上がり、ある意味、感動すら覚えます。楽しそうにプレーする子どもたちの将来が楽しみです！また、その姿を見ている大人も楽しそうにしている姿はとても良い光景であったと感じました。



現在のゴールドドッチはおとなも子どもも一緒にプレーしています。将来はともかく、今後も暫くは「カテゴライズによる優劣をつけること」よりも同じフィールドで大人も子どもも一緒にプレーすることで、子どもたち自らが何かを得るであろうことを優先したいと思います。



それら考えを反映させる意味で、入賞賞品よりも参加賞の充実を図りましたが協賛各社様からいただきましたご好意に心よりの感謝をいたしまして、ご紹介します。

特別協賛の文化シヤッター(株)より
スポーツタオルをはじめとして、
協賛各社には
東京キリンビバレッジサービス(株)より
LOVES SPORTS500ml ペットボトル
日本テトラパック(株)より
オリジナルデザイン・エコドッチビー
また、(株)ミカサより大会直前にリリース
されたばかりの公式 270 ディスクを
試合使用盤として提供いただきました。
この場を借りて御礼申し上げます。
ありがとうございました。



大会全体の講評として、評価できる点は
試合進行が想定したスケジュール通りスムーズであったこと。
ホスピタリティのひとつとして導入した会場にあるレストランで使用できる金券として配布
したドッチビーカードが好評であったこと。そして何よりも良かったのは新たなジャンルの
参加者層に数多く集ってもらえる大会となったこと。が挙げられます。



反省点としてはスタッフの絶対数が不足気味で各種問合せ(特にルール)への対応に不備があったこと。審判のジャッジに不統一感があったこと。事前準備段階における資料の複数チェック不足。などが大会終了後のスタッフ反省会で出ました。また、当日スタッフより誤った説明が一部、ありましたこととお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。



今後の課題として審判員の養成(これによりスタッフの充実に)、また試合のない時間帯の楽しみ方などに一層の工夫をおこなっていきたいと考えています。



Bunka
SHUTTER